

受験番号	UM
------	----

平成 31 年度 山梨大学医学部看護学科入学者選抜試験 問題用紙

小論文 I

【問】 次の文章を読み、著者の意見に対して賛否とその理由を 600 字以内で述べなさい。

これから日本全体が非中央集権化していきますが、リーダーのあり方にも同じような変化が起きます。これまでのリーダーの理想像は、一人で何でもできて、マッチョで、強い人でした。中央集権的なリーダーです。これをリーダー1.0 と名付けましょう。

しかし、これからのリーダーは、一個の独立した完璧な個人である必要はありません。

そもそも独立した個人という考え方自体が、近代が生んだ幻想です。それ自体が古くさい。日本には合わない考え方です。

リーダー2.0 時代のリーダーは、すべて自分でできなくてもまったく構いません。何かひとつ、ものすごくとがっている能力があればよくて、足りない能力は参謀などほかの人に補ってもらえばいいのです。リーダー2.0 時代のリーダーの一つ目の条件は「弱さ」です。共感性の高さが求められるのです。

二つ目の条件は、「意思決定の象徴と実務権限の象徴は別でいい」ということです。言い換えると、個々人は自分の得意分野に特化すればよくて、すべての実務権限を統括している人がいないということです。象徴としての天皇と、執行者としての中臣鎌足に権限が分かれているのに似ています。たとえば、スティーブ・ジョブスのように「俺がかっこいい製品をつくるから、意思決定も全部やらせろ」という独裁的なスタイルは、リーダー2.0 的ではないのです。

三つ目の条件は、「後継者ではなく後発を育てる」ということです。自分の後を継ぐ人ではなく、新しいジャンルや会社を新しくつくっていくような人材を育てられる人です。たとえば、米国のペイパルという会社からは、ペイパルマフィアと呼ばれるくらい、多くの有名企業家たちが生まれました。

こうしたリーダー2.0 の逆が、まさにリーダー1.0 のリーダーです。マッチョで強く、意思決定と実務決定をすべて握り、後発ではなく後継者を育てるリーダーです。

(落合陽一, 日本再興戦略, 幻冬舎, 2018 年より抜粋)

平成 31 年度 山梨大学医学部看護学科入学者選抜試験 問題用紙

小論文Ⅱ

【問】次の図は 20 歳以上の男女合わせた年齢階級別の「歯・口腔の健康に関する状況」の調査結果です。図「『何でもかんで食べることができる』者と歯の保有状況」を読み取り、考えられることを 400 字以内で述べなさい。

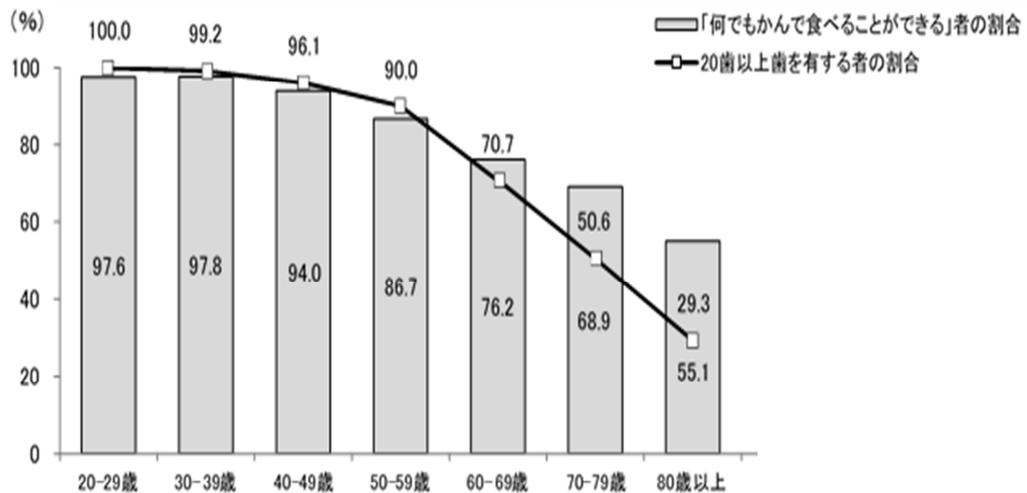


図 「何でもかんで食べることができる」者と歯の保有状況

出典：厚生労働省「平成 29 年 国民健康・栄養調査結果の概要，高齢者の健康・生活習慣の状況」（2018 年 9 月）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000351576.pdf>

